まちづくり推進部 受付
-5.5.15
No.
浜松市中区

HCF 芸 第17号
令和5年5月15日

浜松市長　中野　祐介　様

公益財団法人浜松市文化振興財団
代表理事　　花井　和徳

公益財団法人浜松市文化振興財団代表理事之印

令和4年度浜松文芸館指定管理に関する事業報告書

浜松文芸館の指定管理者基本協定第6章第26条の規定により、次のとおり報告します。

記

1　事業報告書　　別添のとおり

（報告事項）

1　事業総括
2　本業務の実施状況に関する事項
3　管理施設の利用状況に関する事項
4　利用料金収入の実績及び管理経費等の収支状況
5　自主事業の実施状況に関する事項
6　施設・設備の損傷及び不具合に関する事項
7　利用者の苦情、要望又は意見に関する事項
8　労働関係法令の遵守に関する事項
9　前年度事後評価での指摘及び意見に対する対応状況

以上

令和４年度

浜松文芸館指定管理に関する事業報告書

公益財団法人
浜松市文化振興財団
Hamamatsu Cultural Foundation

1　総括

令和４年度は指定管理期間の４年目で、提案書に掲げた運営基本方針（1）文芸資料の収集・保存・研究、（2）文芸資料の展示紹介、（3）講座・講演会等の開催、（4）文芸を通した交流の環境づくり、以上４点について以下のように具体的な取組み事項を設定・実行しました。

【事業実施】

運営基本方針（1）（2）について、浜松ゆかりの文芸人たちの顕彰・研究事業として、三つの収蔵展と一つの企画展を開催しました。企画展「古典文学研究家　松平和久氏所蔵品展」では、『万葉集』や『たけくらべ』など幅広い文学資料を展示し、多くの方に古典文学のおもしろさを紹介する機会となりました。特別収蔵展「浜松を愛した望郷詩人 森の水車 清水みのる」展は伊佐見小学校の協力を得て、三世代が楽しめる展示としました。収蔵展「浜松文芸館の宝物」展は近年収集した作品を展示することで、浜松ゆかりの文芸人を知ってもらう機会としました。特別収蔵展「原田濱人とその思いを受け継ぐ浜松の俳人たち」展では俳句結社「みづうみ」と協力し、浜松の俳人たちを紹介しました。また、都田図書館や雄踏文化センターで小百合葉子の移動展示を実施し、クリエートの冬まつりに浜松文芸館の軌跡を紹介することで多くの人に知ってもらう機会としました。

運営基本方針（3）（4）については、コロナ禍、感染拡大予防に細心の注意を払い、浜松市民の文芸文化の向上を目指しました。「古文書入門講座」は講師の先生が体調不良のため中止となりましたが、16講座と４講演会、1朗読会を開催しました。令和４年度はアンケートの要望を踏まえ、変体仮名を読む『江戸の絵本講座』を新設しました。『楽しいお話づくり講座』では静岡大学地域創造学環の学生が携わる予定でしたがコロナ感染拡大予防のため参加できませんでした。しかし、同大の連携事業として11月に家族と一緒に街中を歩いて俳句をつくるワークショップ「オリジナルマップDEススメ！」を実施しました。『浜松市民文芸第68集』は延べ2,134点の応募があり15歳から96歳までの幅広い年齢層の方527名が投稿しました。詩の部門では高校生が市民文芸賞を受賞し、文芸活動に取り組む若い世代は確実に育っています。裏表紙は浜松文芸館のマスコット俳人くんとことばちゃんのイラストで静岡大学地域創造学環の学生に依頼しました。若い人たちが手に取りやすく、文芸に興味を持ちやすい『浜松市民文芸』を目指しました。また、浜松文芸館のブックスタンドには「絵本コーナー」を設置し、親子で楽しめる空間作りに努め、来館しやすい雰囲気を目指しました。

次年度事業計画においても魅力的な講演会・展示の開催と市民のニーズに応えた講座の開設を通して、文芸に対する市民の意識の高揚を図り、市民文化の向上と地域文化の発展に尽力します。

【施設運営】

コロナ感染拡大予防のため、すべての講座や講演において広い会場を使用し、人数制限を実施して換気に留意し、来場者にはマスクの着用、検温、手指の消毒などをお願いしました。展示観覧者数は11,560人と、令和3年度の11,104人を若干上回りました。講座室の利用状況については、令和4年度は2,483人（令和3年度1,572人）の方に利用していただきました。クリエート浜松1階と5階にはガチャ機を置いて合作俳句を完成した方には俳人君とことばちゃんの文芸館特製オリジナルクリアファイルを差し上げています。また、4階の展示ケースで静岡大学地域創造学環の今までの活動を紹介し、『若い人たちも来館する浜松文芸館』を目指しました。今後も丁寧な接遇の実践と広報活動に力を入れ、魅力ある展示や講座・講演会を実施し、施設の情報発信に努め、浜松文芸館に来館される方々が安全に安心して利用できるよう運営を展開していきます。

2　本業務の実施状況に関する事項

(1)　施設運営状況

開館日	354 日
休館日	11 日

(2)　施設管理保守状況（再委託報告を含む）

項目	実施回数	再委託先
情報通信設備保守管理	常　時	(株)電興社

(3)　事業実施状況（指定事業）

事　業　名	開催日 回数	参加者数 (人)	内　容
あ　展示事業　(4 事業)			
①　企画展「古典文学研究家　松平和久氏 所蔵品展」	4/1～6/19 (3/1～)	※3, 246	[redacted]
②　特別収蔵展「浜松を愛した望郷詩人 森の水車　清水みのる展」	7/1～10/16	※4, 327	
③　収蔵展「浜松文芸館の宝物 ―新収集資料を中心に―」	11/1～2/12	※2, 810	
④　特別収蔵展「原田濱人とその思いを 受け継ぐ浜松の俳人たち」	3/1～3/31 (～6/18)	※1, 177	
い　講座　(5 事業)			
①　川柳入門講座	全5回	64	[redacted]
②　俳句入門講座Ⅰ・Ⅱ	全10回	166	
③　朗読入門講座	全6回	77	
④　朗読書講座	全6回	90	

事業名	開催日 回数	参加者数 （人）	内容
⑤ 短歌入門講座	全5回	33	[redacted]
う イベント （1事業）			
① 朗読会「堤腰和余が志賀直哉をよむ」	10/16	50	[redacted]
え 講演会 （1事業）			
① 講演会「浜松ゆかりの近・現代作家たち ～あの人この人、作品紹介～」	8/7	20	[redacted]
お 子ども向け事業 （3事業）			
① 夏休み絵本づくり講座	7/23	10	[redacted]
② 楽しいお話づくり講座	7/31	25	
③ 夏休み読書感想文講座	7/23, 31	38	
か 浜松市民文芸事業 （1事業）			
① 浜松市民文芸第68集発行			
作品募集・審査	9月～12月	527	[redacted]
編集・発行	12月～3月	-	
掲載作品の表彰 （アクトシティ浜松で開催）	3/11	27	
販売（過去の発行誌を含む）	通年	-	
き 資料の研究調査・保存・整理 （1事業）			
① 資料収集・研究・整理作業	通年	-	[redacted]
く 展示室の案内及び説明 （1事業）			
① 入館者や学習見学者への案内・説明	通年	-	[redacted]
け その他事業 （2事業）			
① 文芸館だより「いざない」発行	通年	-	[redacted]
② 「BUNBUNはままつ」	12月	-	

事　業　名	開催日 回数	参加者数 （人）	内　　容
合　計	19事業	12,687	内、観覧者数に含まれる数（※の事業）11,560
			内、事業単独参加者数　1,127

※別表　【「浜松市民文芸」第68集　応募状況】

（人）

募集部門	応募人数（昨年）	
小説	12	(15)
児童文学	7	(8)
評論	4	(4)
随筆	27	(27)
詩	42	(169)
短歌	100	(107)
定型俳句	198	(187)
自由律俳句	44	(38)
川柳	93	(87)
応募総数　計	527	(642)

（　）内は前年度応募数

(4)　職員研修実施状況

研修科目	実施時期	内容
リスク管理研修：個人情報保護とソーシャルメディアサービスの利用について	9/6	職場における個人情報の取扱い、財団公式アカウントSNS等への投稿についての研修。 講師：財団職員
『はまかる』初級研修～ニュースとイベントカレンダーによる情報発信～	10/12	はまかるサイトの情報更新や、投稿の操作手順に関する実技研修。講師：財団職員

(5) その他報告事項

項目	実施時期	内容
防災訓練	年2回	避難誘導経路確認、消防設備確認

3　管理施設の利用状況に関する事項

(1)　施設運営状況

( )内は前年度実績

	利用率	延べ利用可能数(日)	延べ利用実数(日)	入場者数 (人)
講座室	66.3% (55.9%)	353 (356)	234 (199)	2,483 (1,572)

(2)　観覧者数

( )内は前年度実績

開館日数 (日)	観覧者数計 (人)	観覧者数　内訳（人）		
		大人 (高齢者も含む)	高校生	小中学生 未就学児
313 (318)	11,560 (11,104)	11,315 (10,848)	22 (39)	223 (217)

※開館日数はP3「あ　展示事業」に記載した展示の開催日数。

4　利用料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等（指定管理事業）

※本表は決算見込みです。当財団の決算が６月のため、決算確定後に再提出いたします。

(1) 収支計算書（見込み）

【収　入】　　単位：円

科　目	予算	決算(見込)	差額(見込)	備　考
指定管理料収入	13,187,777	13,187,777	0	
市補償金収入	0	9,850	△9,850	キャンセル料不徴収に係る交付金
消費税関係交付金収入	0	985	△985	令和３年度分消費税関係交付金収入
市補助金収入	0	142	△142	キャッシュレス決済導入に係る交付金
観覧料収入	0	0	0	収蔵展観覧料、特別企画展観覧料を無料化
施設利用料金収入	585,000	450,530	134,470	文芸館講座室等使用料
イベント関連収入	[redacted]			講座受講料、講演会・朗読会参加費
図書販売収入				「浜松市民文芸」売上
収入小計	14,336,777	14,043,284	293,493	①
繰入金(財団本部から)	[redacted]			②財団補填分
収入計	14,336,777	14,605,929	△269,152	①+②

【支　出】　　単位：円

科　目	予算	決算(見込)	差額(見込)	備　考
人件費支出	[redacted]			[redacted]
臨時雇賃金支出				アルバイト賃金
旅費交通費支出				出張、講師交通費他
通信運搬費支出				電話代、郵便代、宅配便代
消耗品費支出				コピー代、事務用品代、展示用消耗品代　他
消耗品什器備品費支出				サイネージディスプレイ及びディスプレイスタンド代
印刷製本費支出				市民文芸製本、事業ポスター・チラシ印刷代　他
使用料賃借料支出				[redacted]
保険料支出				指定管理者総合賠償責任保険
諸謝金支出				講師謝礼　他
租税公課支出				収入印紙、仮受消費税
負担金支出				静岡県博物館協会会費、全国文学館協議会会費
委託費支出				[redacted]
手数料支出				子ども講座画用紙カット代
支出計	14,336,777	14,605,929	△269,152	

当期収支差額(見込)	0	0	0	

5　自主事業の実施状況に関する事項

(1)　事業実施状況

事業名	開催日 金額等	参加者数 (人)	内容
あ　講座　(9事業)			
①　『源氏物語』入門講座	全6回	164	[redacted]
②　古文書読解講座 中止	全5回＊	—	
③　江戸の絵本講座	全6回	96	
④　『平家物語』講座	全6回	141	
⑤　『おくのほそ道』講座	全6回	145	
⑥　篆刻入門講座	全5回	96	
⑦　近代詩鑑賞講座	全5回	38	
⑧　『万葉集』講座	全6回	155	
⑨　『古今和歌集』講座	全6回	155	
い　講演会　(3事業)			
①　講演会 「『蒋介石の書簡外交』とは」	5/14	45	
②　講演会 「松平先生が百人一首を語る」	6/15	52	
③　講演会 「芭蕉に学ぶ俳句の作り方」	11/12	52	

事業名	開催日 金額等	参加者数 (人)	内容
う　教育機関との連携　(2事業)			
①　特別フィールドワーク 静岡大学地域創造学環との連携事業 「オリジナルマップDEススメ！」	11/20	10	[redacted]
②　インターンシップ実習	4～7月	1	
え　クリエート浜松とのコラボ事業　(2事業)			
①　浜松文芸館インフォメーション コーナーの開設	通年	-	[redacted]
②　クリエートの冬まつりにおける浜松文 芸館コーナーの開催	1/21, 22	-	
お　販売事業等（出版物の販売）　(3事業)			
①　浜松市文化振興財団自主出版 「風紋のアンソロジーⅠ・Ⅱ・Ⅲ」	500円 /冊	-	[redacted]
②　浜松市文化振興財団自主出版 「菅宮一念、藤枝静男宛書簡」	2,037円 /冊	-	
③　講座講師著書・企画展関連書籍の委託 販売	原則 定価販売	-	
か　地元伝統工芸品の販売　(2事業)			
①　やらまいかブランド「遠州綿紬」 ブックカバーの委託販売	1,200円	-	[redacted]
②　ミニフォトフレームの委託販売	350円	-	
き　広報・アウトリーチ等　(2事業)			
①　移動浜松文芸館	6/1～6/30 8/1～8/31	-	[redacted]
②　広報活動「浜松文芸館サイネージ」	通年	-	

事　業　名	開催日 金額等	参加者数 （人）	内　　容
く　施設利用者サービス　（1事業）			
①　コピーサービス	10円/枚	-	[redacted]
合　計		1,150	

＊「古文書読解講座」は講師の体調不良により中止。

(2) 収支計算書（見込み）

【収　入】　　単位：円

科　目	予算	決算（見込）	差額（見込）	備　　考
イベント関連収入	[redacted]		167,500	講座受講料、講演会参加料
図書販売収入			5,000	自主出版物売上
手数料収入			36,564	委託物品販売手数料、書籍配送手数料
雑収入			△12,730	コピーサービス
クリエート収支繰入金収入			55,000	
収入小計			251,334	①
繰入金（財団本部から）			△83,940	②財団補填分
収入計	930,000	762,606	167,394	①+②

【支　出】　　単位：円

科　目	予算	決算（見込）	差額（見込）	備　　考
通信運搬費支出	[redacted]		△2,750	自主事業用切手代
消耗品費支出			64,356	篆刻講座材料費
印刷製本費支出			△47,850	俳句ガチャ景品用クリアファイル代
使用料賃借料支出			35,560	施設使用料
諸謝金支出			116,078	講師謝礼
租税公課支出			0	自主事業用収入印紙代
手数料支出			2,000	
支出計	930,000	762,606	167,394	

当期収支差額（見込）	0	0	0	

6　施設・設備の損傷及び不具合に関する事項

(1) 主な修繕一覧（修繕済み）

項目・箇所	修繕実施月	状況
特になし		

(2) その他の報告事項（報告済み）

項目・箇所	状況報告・浜松市への対応依頼
特になし	

7　利用者の苦情、要望または意見に関する事項

(1) ご意見収集方法

・講座終了後の参加者アンケート
・施設利用者を対象としたアンケート（貸出時に用紙手渡し、退出時に回収）
・観覧者を対象としたアンケート（展示室出入口に回収箱を設置）
・メールフォームによるご意見受付（公式ページに設置）

(2) ご意見・ご要望内容と対応（抜粋）

①事業・講座等に対する要望

ご意見・ご要望	財団側対応等
（講座） ・篆刻入門講座を初回から受講している。そろそろステップアップしたい。（篆刻入門講座）	・来年度より入門からの発展講座として「篆刻初級講座」を新規開催。好きな四字熟語など、より難易度の高い作品を制作したいというご希望に応える。
・江戸の絵本に初めてふれて面白かった。くずし字は全く読めないが絵があるので分かりやすい。今後もこのような講座を希望する。（江戸の絵本講座）	・変体仮名で書かれた江戸の絵本を読む、今年度開催の新講座。今後も新しい学びとなる有意義な講座を展開していく。
・短歌は万葉集や古今和歌集のレベルのものと思っていたが、受講して肩の力が抜けた気がする。日常を詠み、日記代わりとしたい。（短歌入門講座）	・短歌は難解であるという思い込みが実際に受講することで解消され、文芸をより身近なものとして捉えていただけることで、その他の講座受講へも広がっていくと考えられる。
・講師の声が聞き取りにくい時がある。	・声が通りにくい講師には毎回ピンマイクを用意し、装着をお願いしている。
（講演会・朗読会） ・和歌の歴史を学び、知識を深められてよかった。百人一首を身近に感じた。メモをとるために机をおけるとよい。（松平先生が百人一首を語る）	・スペース的に机を入れるのは難しいが、希望者にはバインダーを貸し出すなどして対応している。
・俳句と西洋文学との対比に興味がわいた。活躍されている若手芸術家の話を聞けて大変勉強になった。（芭蕉に学ぶ俳句の作り方）	
・会場がどこかすぐに分からなくて戸惑った。（『蒋介石の書簡外交』とは）	・サイネージでの周知に加え、会場前に看板を設置している。講演会タイトル名と講師の名前両方を併記することでより分かりやすい案内とした。
・会場が少し寒かった。（朗読会）	・コロナ対策のため、換気していることをご了解頂いた上で、ひざ掛けの貸し出し、暖かい服装での来場を呼び掛けている。

ご意見・ご要望	財団側対応等
（展示等） ・資料の多さに驚いた。展示に関する研究者の説明を聞きたい。（松平和久展）	・展覧会に合わせ講演会を開催。百人一首の成り立ちや歌人についての詳細な解説は、観覧者の展示への理解と関心をより深めた。
・日頃、文芸に関心は少ないが、地元の作詞家の展示ということで観覧した。改めて郷土の素晴らしを誇りに感じた。今後は少しずつ、文化・文芸にも興味を持ちたいと思う。（清水みのる展）	
・浜松にゆかりのある文化人が大勢いることを初めて知った。浜松の文化が素晴らしいものと実感した。（宝物展）	
・町中でポスターを見かけなかった。	・クリエート外壁にラッピングを施し、印象的な周知を行っている。チラシ・ポスターなどの配架やホームページ上での開催告知などを引き続き行うとともに、サイネージを活用することで、来館者の観覧を促す。
・よい展示は 1 回で終わりではなく繰り返しやってほしい。	・何年かごとに同じ文化人を顕彰している。 その都度、新しい切り口で新資料などを紹介し、より魅力的な展示となるよう努めている。

※講座に対するご意見・ご要望は、批判的なご意見が集まりにくいため、現場でご意見を直接拾い次回につなげていく。

②施設・設備に対するご要望

ご意見・ご要望	財団側対応等
・文芸館の展示室が広さ的にちょうど良い。	・展示内容をコンパクトにまとめ、見やすく分かりやすい展示方法を心掛けている。
・文芸館職員の対応が親切で気持ちがよい。	・利用者に気持ちよく使っていただけるように、誰に対しても親切丁寧な対応に努めている。
・駐車場の料金が高い。	・施設利用者にはクリエート浜松の補助サービスをご案内し、少しでもご負担を軽くできるようにしている。

8　労働関係法令の遵守に関する事項

労働関係法令に基づき、適正に業務を執行しました。

管理運営にあたっては、[redacted]体制で行いましたが、11月からは（公財）浜松市文化振興財団から非常勤嘱託員1名に応援してもらいました。

諸法に則った就業規則を整備し適切な雇用契約及び労使協定を交わしており、適正な労働条件の下で雇用しています。（詳細別紙）

あわせて、弁護士及び社会保険労務士とも顧問契約を締結するとともに、外部通報窓口も設置し、管理体制の確認を行っています。

9　前年度事後評価での指摘及び意見に対する対応状況

指導事項として、以下の指摘をいただきました。

① 利用団体が減らないよう、活動を休止している団体へのアドバイス等を行っていただきたい（原文）

② クリエートを若い世代にも活用してもらえるような広報、PR事業が必要（原文）

③ 利用者の安全・安心を考え、施設・備品の改修など、市と連携してしっかり対応していただきたい（原文）

④ 浜松の文化芸術の発信、体験の場として引き続きよりよい運営をお願いしたい（原文）

[redacted]